

リサイクル追跡シリーズ第一弾！

『雑色ビン』の旅

今回は、皆さんに分別してもらっている「ビン類」について、ごみステーションからどのような流れでリサイクルされているのかを取材してきました。

市では、飲食料用のビン等を「ビン類」として、無色・茶色・



①ごみステーションで色別にコンテナで回収されるビン／②回収された雑色ビンの山

雑色の3種類に分類して回収しています。

無色と茶色のビンは、それぞれ細かく砕かれ、再びビンの原料として使用されます。ビンに使用されているガラス素材は、品質が劣化しにくいため、くり返し利用できる特長があります。

それでは、無色・茶色以外のさまざまな色のビンが混ざっている雑色ビンはどうなっているのでしょうか。

雑色ビンは、流通量が少ないことから、再びビンとして再利用することが困難です。そのため、雑色ビンは、



③粉碎されたビンラベルやキャップなどを人の目で選別／④出来上がった粒状のカレット

ほとんどの市町村が埋立処分をしています。

しかし、市では、雑色ビンもリサイクルしています。皆さんの手を離れた雑色ビンが、どのような過程を経て、再びリサイクル製品として生まれ変わるかを見てみましょう。

①家庭から出た飲食料用のビンは、ごみステーションに設置されたコンテナを使用し、色別に回収されます(写真①)。

②回収されたビンは、牛窓・邑久地域はクリンセンターかもめへ、長船地域は長船クリンセンターへ集められます(写真②)。

③集められたビンは、リサイクル業者に引き取られ、工

場へ運搬されます。

④工場では、機械でビンを粉碎し、ラベルやキャップなどの余分な物を取り除きます(写真③)。

⑤最後に5mm以下の粒状になるまで粉碎します。出来上がった粒をカレットといいます(写真④)。

カレットは、土やタイル、アスファルトに混ぜて土木資材として使用されます。今までは、埋立処理をするしかなかった雑色ビンも、再び資源として利用されています。

「ビン類」は、リサイクルするためにラベルをはがす必

要はありません。キャップ類を外し、無色・茶色・雑色の3種類に分類して回収することで、効率的に再利用できます。また衛生上の観点から水洗いをお願いします。

■問い合わせ先
生活環境課

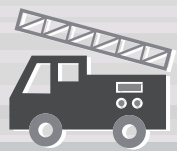
あなたが主役！ ごみダイエット瀬戸内

瀬戸内市における近年のごみ排出量データを見ると、夏場にごみ排出量が多くなる傾向にあることが分かります。つまり、「ごみダイエット」として、夏は天敵といえるのです。

しかし、違う角度から見ると、例年ごみ排出量が増えるこの時期こそ、逆にごみを減らすチャンスでもあるのです。

今回の「ごみダイエット通信」は、夏を乗り切る減量特集として、「天日干しダイエット」などの情報や対策を掲載しています。本紙に折り込みの緑色のチラシをぜひご覧ください。市民の力で、ピンチをチャンスに変えましょう！

安全通信



問 瀬戸内警察署：0869-34-6110
消防本部警防課：0869-22-1492
予防課：0869-22-1493

消防署からのお知らせ

熱中症に注意しましょう

昨年、市内では、28人が熱中症で病院へ救急搬送されています。

熱中症は、炎天下や高温多湿の状況下で体温の調節が効かなくなった状態で発症し、めまいや頭痛、痛みを伴う筋肉のけいれんなどの症状が出ます。最悪の場合、死亡するケースもあります。

また気象庁では、最高気温がおおむね35℃以上になると「高温注意報」を発表し熱中症への注意を呼びかけています。

【熱中症の予防対策】

- ・十分な睡眠をとる。
- ・日差しが強い時は、外出を控える。
- ・高齢の人は、エアコンを利

用するなど、室内の温度調節に心掛ける。

- ・激しい運動を避ける。
- ・のどが渇く前に、こまめに水分を補給する。

【熱中症の応急手当】

- ・日陰など涼しい場所へ移動させ、衣服を緩める。
- ・首筋、脇の下、太ももの付け根に冷たいタオルや氷をあてる。
- ・スポーツドリンクなどを飲ませ、水分補給をする。

救急車の適正利用を

救急車は、命にかかわるようなけがや病気の人を一刻も早く病院に搬送するための車両です。

昨年、救急搬送した1、586人のうち562人が入

院を要しない軽症患者であり、全体の約35%を占めていました。

軽症者の搬送は、緊急性があり、本当に救急車を必要としている傷病者への対応を遅らせ、救命率に影響が出るおそれがあります。

いま一度、救急車の適正利用について考えてみてください。

普通救命講習の受講者を募集

突然、心臓や呼吸が止まってしまった人を救うには、そばに居合わせた人が救命処置を行うことが大切です。

9月9日の「救急の日」にあわせて、普通救命講習会を実施します。市民の皆さんの参加をお待ちしています。

▽日時 9月9日(金) 午前9時～正午

▽場所 消防本部

▽募集期限 9月2日(金)

▽受講費 無料

▽定員 30人(先着順)

■問い合わせ・申込先
消防本部警防課

ご注意を！ 強引な押し買い業者

最近、「あなたの家に眠っている貴金属を売ってくれませんか」などと言いながら、自宅などへ訪問してくる訪問買い取り業者について、脅迫や詐欺まがいの行為があるため、苦情や相談が増えています。被害に遭わないために、次のことに注意しましょう。

①毅然と断る

急に業者が訪問してきたら、買い取ってもらうつもりがないのなら、「売るものはありません」と毅然と断りましょう。

業者が家からなかなか帰らなかつたり、無理に物品を出すよう迫られた場合は、警察に通報してください。

②一人で対応しない

業者が売るつもりのない物



品を強引に買い取ってしまう場合があるので、必ず複数での対応を心掛けましょう

③相手を確認する
契約前に業者名、住所、電話番号の確認と許可証などの確認をしましょう。

許可を受けた古物業者は、「許可証」または「行商従事者証」を携帯することを義務付けられています。

④買い取り条件などの書面をもらう
買い取り条件や買取品の一覧については書面を作成してもらい、控えを受け取ってください。

また、個人情報の利用目的などについて業者に確認してください。

⑤警察や消費生活センターに相談する
法律違反ではないかと思っ

た時や怖い思いをしたときは、警察や消費生活センターに相談しましょう。

■問い合わせ・相談先
瀬戸内警察署

岡山県消費生活センター
0866-2266-0999

ごみ減量速報

単位：グラム

地域	23年4～6月	22年4～6月	達成度
牛窓	784	782	×
邑久	818	792	×
長船	692	656	×

※数値は、1人1日あたりのごみ排出量の3カ月平均値です。
※達成度は、減量率5%以上を◎、0～5%を○、減量できなかった場合を×で表しています。